

HIRANO TECSEED Co.,Ltd.

# 第89期 株主通信

平成24年4月1日から平成25年3月31日まで

| 証券コード | 6245 |



株式会社 ヒラノテクシード

# 「塗工」「乾燥」「制御」の技術を融合させ、幅広い

自動車、エレクトロニクス製品、エネルギー関連、医療製品、建材から日用品まで——私たちヒラノテクシードグループは、多彩な製品の基材を製造する様々な装置をお届けするメーカーです。創業以来、培ってきた「熱と風の技術」（乾燥技術）をはじめ、塗工・ラミネーティング・成膜・成形等の技術、走行技術を融合させ、高精度でクリーンなものづくりに貢献する技術開発を進めてまいりました。刻々と変化するお客様のニーズとのマッチングを図るために、お客様との技術交流を通じて商品開発のご提案を行う「テクニカム」という仕組みも整えております。これからも、グループ企業であるヒラノ技研工業株式会社、株式会社ヒラノエンテック、ヒラノ光音株式会社とのシナジーを活かしながら、国内はもちろん世界中のお客様のニーズに最先端の技術とクオリティで応え続けてまいります。

## 代表的な基盤技術

（ウエット&ドライ）  
塗工技術

（熱と風）  
乾燥技術

装置制御技術

## 技術開発

お客様のニーズとのマッチングを図る

「テクニカム」

## ヒラノテクシードの歩み

- 1935年 6月 | 熱交換機、送排風機の専門メーカーとして、現在の大阪市平野区に平野金属合資会社を創業。繊維製品の乾燥機械を主力製品とし、業績を伸ばす。
- 1957年 3月 | 株式会社化し、平野金属株式会社となる。

- 1962年 4月 | 大阪証券取引所市場第二部上場。
- 1971年 12月 | フィルムなど繊維以外の分野へ進出。
- 1973年 6月 | 「ヒラノテクニカム」を設置。

# 産業に欠かせない製造装置をお届けしています。

## 主要製品

### 塗工機械

#### 対象基材

光学機能性フィルム  
リチウムイオン電池電極  
タッチパネル用ハードコートフィルム  
光学用粘着(OCA)テープ  
FPC用電磁波シールド材  
医療用 経皮吸収体 など



### 化工機械

#### 対象基材

ポリイミドフィルム  
ポリカーボネートフィルム  
チップオンフィルム  
セラミックシート  
不織布  
炭素繊維  
タッチパネル用ITOフィルム など



## 多彩な対応分野

エレクトロニクス

自動車

IT・通信・半導体

エネルギー

医療

etc...

1978年 6月

ヒラノ技研工業株式会社設立。

1987年 6月

株式会社ヒラノエンテックを設立。

10月

光音電気株式会社(現・ヒラノ光音株式会社)を100%出資子会社とする。

1989年 1月

株式会社ヒラノテクシードへ社名変更。

1998年 4月

ISO9001 認証取得。

# 「Wet & Dryのコーティング装置」で世界トップクラス企業価値の一層の向上をめざします。



取締役社長  
まつば しげみ  
**松葉 茂美**

1948年、三重県生まれ。

1972年、当社入社。

塗工機械部長、東京支店長、機械部担当等を歴任し、

2013年6月、取締役社長に就任。

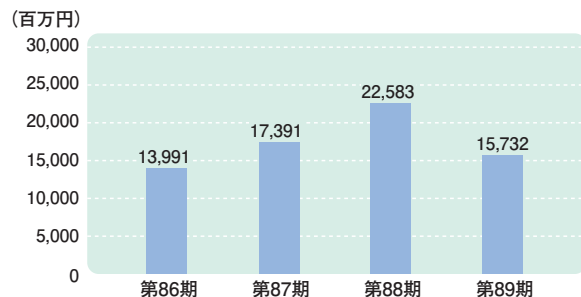
当連結会計年度におけるわが国経済は、東日本大震災からの復興需要などに下支えされたものの、欧米での金融財政への懸念や新興国の経済成長の減速、円高やわが国における株価低迷の影響によって、企業の設備投資も低調に推移する状況にありました。一方、2012年末以降は新政権のもと、円安・株高基調へと転換する期待が持たれる状況にもあります。

このような状況のもと、当社グループは顧客ニーズの高度化に対応すべく品質管理を徹底し、引き続き、環境エネルギー分野及び電気電子部材関連分野を中心に、高精度薄膜塗工機の拡販に努めてまいりました。併せて、円高局面における海外からの資材調達、社内での質素節約を図るなどコスト削減に努めてまいりました。

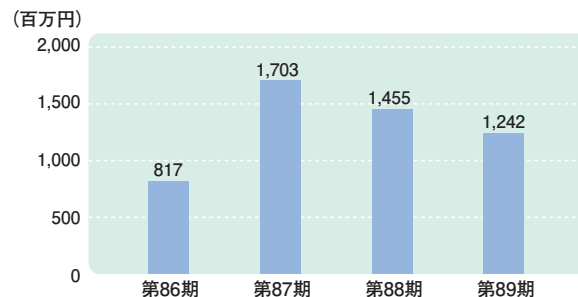
その結果、売上高は15,732百万円(前期比30.3%減)となり、利益面では経常利益は1,242百万円(前期比14.6%減)、当期純利益は771百万円(前期比11.3%減)となり、ほぼ計画通りに推移いたしました。なお、受注残高は23,632百万円(前期末比76.7%増)となりました。

## 連結業績ハイライト

### 売上高



### 経常利益



# の企業として、

2013年6月、取締役社長に就任した松葉茂美が事業の展開などについて語りました。

**Q** グループの強みはどこにあるとお考えですか。

**A** 5つの強みを活かして高付加価値を実現しています。



## ① 提案型企業

11台のテストマシンを保有し、お客様へのシステム提案を行う「テクニカム」を実施。このようなお客様との技術交流はタイムリーな装置提案を実現するとともに、新技術の開発のベースにもなっております。

## ② 高い塗工精度

高付加価値な商品開発のニーズである薄膜塗工のミクロンからナノレベルの高度な精密塗工技術を備えたヒラノ独自の塗工機を提供しております。

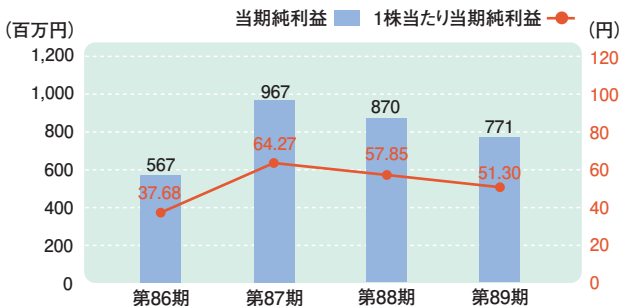
## ③ 高クリーン度

光学機能性フィルムや半導体・電子材料用生産技術のニーズに、微細なチリやホコリを発生しないクリーン度の高い装置技術を確立しております。

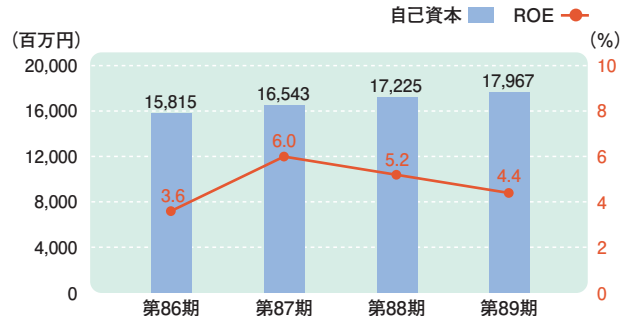
## ④ 垂直立ち上げ(据付から稼動までの期間)を支援

「テクニカム」でのお客様との技術交流を踏まえ、高度な精密塗工・精密乾燥及びウェブ安定走行などの高い技術力を結集した装置のもとで、お客様の垂直立ち上げを強力にサポートしております。

## 当期純利益／1株当たり当期純利益



## 自己資本／ROE





### ⑤ ウェット&ドライの塗工技術を併せ持つ

ウェットとドライ両方の塗工技術を保有するのは世界のコンパティンクメーカーのなかでも、唯一ヒラノテクシードグループだけです。タッチパネル・有機ELディスプレイ・太陽電池などのものづくりの分野で、お客様のご要望に効率よくお応えできると同時にウェット&ドライ塗工の一連の装置を提供できるメーカーとして、高い評価を得ております。

**Q** 中期及び第90期の  
展望をお聞かせください。

**A** “5本の矢”を重点として  
改革をスピードアップします。

2012年4月から2015年3月を対象期間とした中期経営計画では、「コスト競争力の強化」「ヒラノブランドの発揮」「環境エネルギー市場への拡販」「顧客満足度の向上」に取り組んでおります。今後は更に「クオリティ(品質)」、「スピード」、「コスト」、「プロフィット(利益)」、「コミュニケーション」を“5本の矢”として重点化し、コスト・技術・ものづくりにおける改革を一層スピードアップできればと考えております。

中期経営計画の2年目にあたる2013年度は、スマートフォン、タブレット端末の市場が拡大しつつあるなか、それらに使える基材は当社グループが担う装置から生み出されます。



また、エネルギーの市場では、リチウムイオン電池の生産において、さらに生産性を高めた塗工装置や乾燥装置が求められており、我々が貢献できるところが大きいのではないのでしょうか。

このような分野のほか、先端複合材として、航空機・自動車・スポーツ用品などに、幅広く活用されている炭素繊維用プリプレグやその他の産業資材用ガラスクロス処理装置などの需要も高まっており、これらの産業資材を生産する当社の製品の需要にもプラス効果が期待されます。

当社グループが担う製品分野はすそ野が広く、ここではほんの一部しかご紹介できませんが、技術力を活かしながら、今後もニッチな市場をターゲットに、高付加価値の技術・装置を提供してまいります。

**Q** 最後に、株主・投資家の皆様への  
メッセージをお願いします。

**A** 安定的に収益を確保し、  
自己資本比率70%をめざします。

基本方針である「安定的な配当の維持」のためには、着実な収益の確保やしっかりとした財務基盤の確立が重要だと考えております。2014年度以降も、より一層の経営努力による収益確保と、自己資本比率70%の確保をめざします。

収益確保の基盤は、お客様にとって価値ある技術・装置を創出し続け、顧客満足度を向上することだと考えております。私自身は技術部門を経験後、営業部門を長く経験しており、そのキャリアを経営の舵取りに活かしながら、従業員の能力を100%以上発揮できるような職場環境創りにも努めていきたいと考えております。

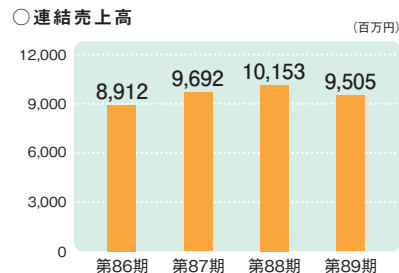
株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

## 塗工機 関連機器

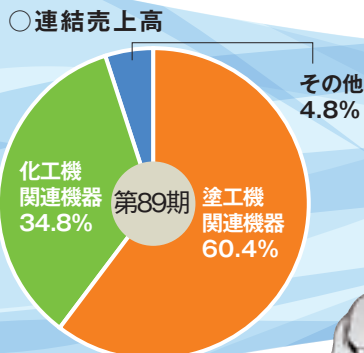
各種コーティング、ラミネーティング装置並びにこれらに付随する乾燥・熱処理装置及びライン制御装置



塗工機



## セグメント別 構成比

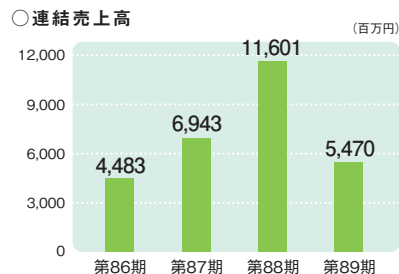


## 化工機 関連機器

各種成膜装置、不織布・高性能繊維製造装置、フラットパネル塗布乾燥装置並びにこれらに付随する乾燥・熱処理装置及びライン制御装置



薄膜成型装置



# 新たに塗装工場が稼動。高精度・高クリーンのものづくりが一層進化しました。

ものづくりにおいて、「塗装」は製品の保護、美観の付与に加えて、平滑性・防錆性をはじめとする機能性を実現する上で大切な工程です。私たちヒラノテクニードは生産体制強化の一環として、本社工場敷地内に塗装工場を新設し、2013年1月から稼動いたしました。

### 塗装工場の概要

建物敷地面積：1,200㎡

主 要 設 備：静電塗装コンベヤライン、  
プッシュプル型乾式塗装ブース

## 新設の経緯

新たに稼動した塗装工場は、既設工場内にあった塗装部門を独立させ、隣接したエリアに新設した建屋へ移転させたものです。この計画については10年ほど前から時間をかけて検討してきましたが、近年、ユーザー様の「高クリーン装置」へのご要望の高まりと、作業環境の向上、更には生産量の増加にともなって既設棟が手狭になった状況を鑑み、当年度に入り、本格的に計画を推進し、建設を進めてまいりました。

主要な設備として、静電気の働きを利用して塗装を行う「静電塗装コンベヤライン」、強力な換気設備を備えた「プッシュプル型乾式塗装ブース」が導入されたこの工場は、本年初めに竣工を迎えました。





## 生産性が向上し、作業環境も改善

「静電塗装コンベヤライン」は、被塗物をセンサーで感知することによって、塗料の余分な噴出しを抑えたムダのない塗装が可能となり、既存設備より塗装スピードも速く、生産性が大幅に向上いたしました。加えて、塗料ミストを水流で落として排水として循環させ、排水中で塗料カスと水に電気分解し、浄化された水をラインでリユースする環境にやさしい循環型の仕組みが組み込まれています。

一方、「プッシュプル型乾式塗装ブース」では幅12m×奥行6mのスペースで、乾燥機本体や大型の部材に塗装を行います。パワフルな排気ファンにより、空気の流れを下方にコントロールすることで、塗料ミストが格子状の床を通り抜け、フィルターで集塵される構造となっており、塗料ミストや臭気の拡散を抑え、作業しやすい環境が実現できました。

また従来、ひとつの建屋に共存していた組立作業場と塗装作業場を分離したことから、作業環境が向上され、各工程の作



業スペースを拡張でき、更に動線もスムーズになり、より高いクリーン性が確保できるようになりました。

このように、塗装工場の稼働によって生産性や効率性、作業環境などの改善を図ることができ、当社の生産環境はより高いレベルへ進化しました。

## INTERVIEW

### これから大きな戦力となる、新塗装工場。

塗装工場の建設や稼働に向けた準備は、既設の工場生産を継続しながらの作業になりました。生産に支障を来さないよう、鉄骨の搬出・搬入作業を休日返上で行ったこともありました。しかし、「他社よりも少しでも良い製品を」という我々の思いを実現するためだと思えば、苦勞のかがあったという

ものです。新塗装工場は、私たちヒラノテックが高精度・高クリーンの装置を生み出していく上で大きな戦力になるでしょう。今後も現場での安全性確保や環境にやさしいものづくりにも気を配りながら、当社ならではのものづくりをめざしていきます。



取締役製造部長  
やすい むねのり  
安居 宗則

# 連結財務諸表

## 連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	第88期	第89期
	(平成24年3月31日現在)	(平成25年3月31日現在)
<b>資産の部</b>	<b>24,977</b>	<b>32,009</b>
流動資産	20,249	26,503
固定資産	4,727	5,506
有形固定資産	2,846	3,132
無形固定資産	151	170
投資その他の資産	1,730	2,203
<b>資産合計</b>	<b>24,977</b>	<b>32,009</b>
<b>負債の部</b>	<b>7,751</b>	<b>14,041</b>
流動負債	6,374	12,841
固定負債	1,377	1,200
<b>純資産の部</b>	<b>17,225</b>	<b>17,967</b>
株主資本	17,106	17,683
資本金	1,847	1,847
資本剰余金	1,339	1,339
利益剰余金	14,326	14,902
自己株式	△ 406	△ 406
その他の包括利益累計額	118	284
その他有価証券評価差額金	118	284
<b>負債純資産合計</b>	<b>24,977</b>	<b>32,009</b>

## 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	第88期	第89期
	(平成23年4月1日から平成24年3月31日まで)	(平成24年4月1日から平成25年3月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,858	2,240
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,192	526
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 138	△ 366
現金及び現金同等物の増加額 (△は減少)	△ 804	2,400
現金及び現金同等物の期首残高	8,620	7,815
現金及び現金同等物の期末残高	7,815	10,215

## 連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	第88期	第89期
	(平成23年4月1日から平成24年3月31日まで)	(平成24年4月1日から平成25年3月31日まで)
売上高	22,583	15,732
売上原価	19,457	12,938
売上総利益	3,126	2,794
販売費及び一般管理費	1,728	1,624
営業利益	1,397	1,169
営業外収益	74	99
営業外費用	16	26
経常利益	1,455	1,242
特別損失	1	0
税金等調整前当期純利益	1,453	1,242
法人税・住民税及び事業税	520	466
法人税等調整額	63	3
少数株主損益調整前当期純利益	870	771
当期純利益	870	771

### 配当のお知らせ

当期の利益配当金につきましては、1株当たり普通配当金6円（中間配当金6円と合わせて、年間配当金は1株当たり12円）とさせていただきます。

# 会社の概要

(平成25年3月31日現在)

社名	株式会社 ヒラノテクシード
英文社名	HIRANO TECSEED Co.,Ltd.
創業	昭和10年6月1日
設立	昭和24年7月25日
資本金	1,847,821,888円
従業員数	226名
事業所 本社	〒636-0051 奈良県北葛城郡河合町大字川合101番地の1 電話 (0745) 57-0681
東京支店	〒103-0023 東京都中央区日本橋本町4-8-16 (千城ビル9F) 電話 (03) 3242-5441
インターネット ホームページ	<a href="http://www.hirano-tec.co.jp/">http://www.hirano-tec.co.jp/</a>

## 役員

取締役社長 (代表取締役)	三浦 日出男
専務取締役	松葉 茂美
常務取締役	馬場 英樹
取締役	定安 一男
取締役	松本 剛
取締役	安居 宗則
常勤監査役	逸崎 正
監査役	高谷 和光
監査役	田中 寛治郎

(注) 監査役高谷和光氏並びに田中寛治郎氏は、社外監査役であります。

## 子会社

ヒラノ技研工業株式会社 (産業用機械器具製造)  
株式会社ヒラノエンテック (繊維機械等部品製造)  
ヒラノ光音株式会社 (真空装置等製造)

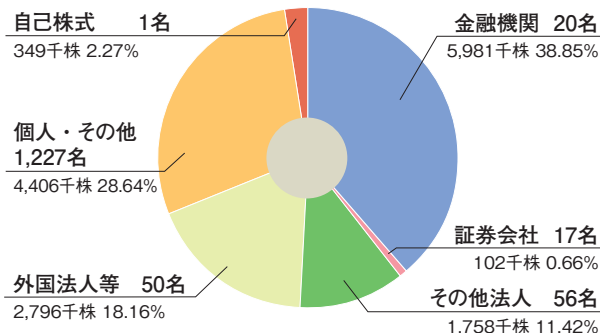
## 株式の状況

発行可能株式総数	50,000,000株
発行済株式総数	15,394,379株
株主数	1,371名
大株主	

株主名	当社への出資状況	
	持株数	出資比率
	千株	%
明治安田生命保険相互会社	1,450	9.64
ヒラノ会	1,279	8.50
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,053	7.01
伊藤忠商事株式会社	1,000	6.65
株式会社三菱東京UFJ銀行	737	4.90
株式会社りそな銀行	731	4.86
オーエム04エスエスピークライアントオムニバス	618	4.11
ザバンクオブニューヨークメロンアズ エージェントビーエヌワイエムエイエス イーエ	526	3.50
イタッチベンションオムニバス 140016		
RBC INVESTOR SERVICES BANK		
S.A. HSBC INTERNATIONAL SELECT FUND-MULTIALPHA JAPAN EQUITY	302	2.01
株式会社みずほ銀行	300	1.99
株式会社南都銀行	300	1.99

(注) 1. 上記の他、自己株式数349,557株を保有しております。  
2. 出資比率は自己株式数を控除して計算しております。

## 所有者別株式分布状況



## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月中
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所 (お問合せ先)	〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 電話 (通話料無料) : 0120-094-777
上場証券取引所	大阪証券取引所 市場第二部
証券コード	6245
公告掲載方法	大阪市において発行する日本経済新聞

大阪証券取引所は、平成25年7月16日付をもって東京証券取引所と市場の統合を行う予定のため、同日以降当社の上場証券取引所は東京証券取引所になります。

※株式関係のお手続き用紙のご請求は、次の三菱UFJ信託銀行の電話及びインターネットでも24時間承っております。

電話 (通話料無料) :

0120-244-479 (証券代行部)

0120-684-479 (大阪証券代行部)

インターネットホームページ : <http://www.tr.mufg.jp/daikou/>

ヒラノテックシード ホームページ

<http://www.hirano-tec.co.jp/>

ホームページで当社の事業活動、商品の案内、投資家情報などに関する詳しい情報をご覧いただけます。ぜひご活用ください。



この冊子は、環境に配慮し、植物油インキを使用しております。